

令和7年度 事業報告書



社会福祉法人 箕輪町社会福祉協議会

< 目 次 >

【事業方針と組織】

I	令和7年度事業報告総括	5
II	令和7年度の主な事業報告	6
III	組織及び職員配置	7
IV	事務局組織	8
V	理事・監事・評議員	9

【総務グループ】

I	法人運営事業	10
	01 会議等の開催	
	02 会員増強事業	
	03 広報事業	
	04 職員研修事業	
	05 職員福利厚生事業	
	06 実習生受入れ事業	
	07 他社会福祉協議会との交流・連携	
	08 職員派遣	
	09 長寿クラブ連合会事務局	
	10 地域福祉活動計画推進事業	
	11 法律相談	
	12 寄付金、寄付物品	
	13 社会福祉充実計画事業	
	14 キャリアパス制度の運用	
	15 事業継続計画（BCP）	
	16 施設指定管理者	
	17 労働災害発生状況	
II	慰霊祭事業	16
	01 戦没者慰霊祭	
III	げんきセンター南部管理運営事業	16
	01 げんきセンター南部管理運営	
IV	地区社協推進事業	17
	01 地区社協運営事業	
	02 ふれあい花壇事業	
	03 地区社協会長会	

V	福祉用具貸出事業・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	01 福祉車両	
	02 車いす	
	03 ポータブルトイレ	
	04 福祉教育教材、備品の貸出し	
IV	共同募金配分金事業・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	01 高齢者事業	
	02 障がい児・者事業	
	03 児童・青少年事業	
	04 住民全般事業	
VII	ゆとり荘太陽光発電事業・・・・・・・・・・・・	20
	01 ゆとり荘太陽光発電事業	

【地域ふれあいグループ】

I	あんしん未来創造事業・・・・・・・・・・・・	21
	01 金銭管理財産保全サービス事業	
	02 日常生活自立支援事業	
	03 長野県あんしん未来創造センター関連事業	
	04 生活福祉資金貸付事業	
II	ボランティア育成事業・・・・・・・・・・・・	22
	01 ふれあい広場事業	
	02 上伊那ブロックボランティア交流研究集会事業	
	03 人材育成事業	
	04 情報発信事業	
	05 ボランティア活動支援事業	
	06 フードバンクみのわ事業	
	07 ふれ愛サポーターズ事業	
III	すまいるサポート事業・・・・・・・・・・・・	26
	01 認知症見守り協力団体「すまいる」協力団体登録促進	
	02 あんしん見守りサービス登録	
	03 認知症サポーター養成講座	
	04 のぞみの会（認知症家族の会）	
	05 認知症フォーラム	
	06 情報交換会	

IV	支えあい体制づくり推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	27
	01 地域福祉コーディネーター実績	
	02 ふれあいサロン事業	
	03 支えあい学習会	
	04 インフォーマルサービスの資源整理	
V	生活困窮者相談支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・	29
	01 生活困窮者相談対応	
	02 まいさぼ出張相談所	
	03 なんでも相談会	
VI	子どもの学習生活支援事業 まなびサポートみのわ・・・・・・・・	30
	01 学習生活支援事業登録	
	02 学習支援コーディネート	
VII	子どもの居場所づくり推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	31
	01 アウトリーチ・相談支援	
	02 子どもの居場所づくり	
VIII	障がい者の社会参加と生きがいづくり事業・・・・・・・・	32
	01 障がい者スポーツ交流大会	
IX	重層的支援体制整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・	33
	01 アウトリーチ等を通じた継続的支援	
X	特例貸付相談支援体制強化事業・・・・・・・・・・・・・・・・	34
	01 貸付者フォローアップ	
XI	厚生資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・	35
	01 厚生資金貸付	

【通所介護グループ】

I	いきいきデイサービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・	36
	01 いきいき塾 南部班	
II	通所介護事業 介護保険法・・・・・・・・・・・・・・・・	37
	01 箕輪町デイサービスセンターゆとり荘	
III	総合事業通所介護・・・・・・・・・・・・・・・・	39
	01 介護予防・日常生活支援総合事業	
	02 介護度別利用件数	
	03 基準該当生活介護事業	

【訪問介護グループ】

I	訪問介護事業 介護保険法	40
01	社会福祉法人箕輪町社会福祉協議会	
02	介護度別利用件数	
II	障害者総合支援法訪問介護事業	41
01	障がい者総合支援事業	
III	総合事業訪問介護	42
01	介護予防・日常生活支援総合事業	

【居宅介護支援グループ】

I	居宅介護支援事業	43
01	社会福祉法人箕輪町社会福祉協議会	
02	介護度別利用件数	

【障がい者就労支援グループ】

I	障がい者就労支援センター事業	44
01	障がい者就労支援センターふれんどわーく	

【障がい者相談支援グループ】

I	障がい者相談支援事業	46
01	箕輪町社会福祉協議会 指定特定相談支援事業所	
02	区分別利用件数	

【参考資料】

I	地域福祉活動計画事業評価	48
II	人事動向	49
III	社協会費入金状況	50
IV	寄付金・遺志金一覧	51
V	修繕実施状況	52
VI	固定資産取得状況	53
VII	公用車更新状況	54
VIII	太陽光発電事業売電状況	55
IX	太陽光発電事業返済状況	56
十	事業別資金残高資料	57
XI	事業報告の附属明細書	58

I 令和7年度 箕輪町社会福祉協議会事業報告総括

＜基本理念＞ みなさまと共に ふれあい 支え合い 誰もが暮らしやすい
お互いさまの地域づくりをめざします

当協議会の基本理念に基づき、令和3年度に策定した第4期地域福祉活動計画に掲げる基本方針である「ともに生きる 心豊かな地域づくりの実現」を目指して各種事業に取り組みました。

令和7年度は地域共生社会の実現に向けて、人や社会とのつながりの中で、自分らしい暮らしが実現できるよう生活課題を把握し、解決に向けて住民や地域の関係諸団体と連携を図り、包括的に丸ごと受け止め、継続的に支える仕組みづくりに取り組みました。令和7年度の事業方針に基づき2つの事項に注力いたしました。

1つ目は、法人組織の基盤強化に取り組みました。福祉サービスを提供する社協の透明性、公平性、信頼性をより担保するため、第三者からなる苦情解決委員会を新たに設置し、利用者の声を安心して届けられる仕組みを整えました。事務局内部では気付きにくい視点でアドバイスやヒントを頂き質の改善を図りながら成長し続ける法人組織を目指しております。

2つ目は、各種福祉サービスの経営健全化と財政基盤の安定化に取り組みました。介護保険事業においては非常に厳しい経営環境にあるなか、今年度は訪問介護事業において外部コンサルタントからの助言や支援を受け、課題の整理と改革の道筋を定めることができました。近年選択肢の広がりにより新規利用者の獲得に苦慮しておりますが、新たな加算取得や職員の適正な配置により法人全体で収支バランスが保てるよう経営改善に努めました。

決算状況を見ますと、実質的な単年度資金収支は△2,451,936円となり、積立額と繰越金の資金合計は300,840,706円となりました。

前年度より介護保険と障がいサービスの収益が減少していることに加え、賃金改善による職員一人当たりの人件費の上昇が主な要因となり、最終的に黒字計上には至りませんでした。

会長以下職員一同、より一層の経営改善を目指して奮励努力してまいりますので、引き続きご理解とご支援賜りますようお願い申し上げます。

Ⅱ 令和 7 年度の主な事業報告

☆新規事業、△中止・廃止・再開事業、○検討事業、□社会福祉充実計画

<総務グループ>

- ☆ 障がい者雇用の推進…5 月から 1 人雇用
- ☆ 第三者委員会の設置…8 月から 3 人委嘱
- キャリアパス基準の見直し…11 月から新基準で運用開始
- 権利擁護事業充実の検討…10 月から検討委員会を 11 回開催

<地域ふれあいグループ>

- △ 子どもの学習支援事業…4 月から実施
- ふれあい広場休止・検討委員会設置…8 月から 4 回実施
- ボッチャ大会からスポーツ交流大会へ変更…10 月実施
- 特例貸付相談支援体制強化事業…専従職員 1 人配置

<通所介護グループ>

- ☆ 役場職員派遣により管理者を配置し運営体制を変更
- △ 機能訓練指導員を配置
- △ 新たな加算取得（個別機能訓練加算Ⅰ）、個別機能訓練再開
- ☆ 福祉教育への職員派遣
- ☆ 施設維持管理の増加
(給湯ボイラー二次循環ポンプ交換、トイレ壁・浴室タイル壁修繕)

<訪問介護グループ>

- 訪問車両の購入（1 台購入）

<居宅介護支援グループ>

- 加算取得の検討…経営検討部会にて実施

<障がい者就労支援グループ>

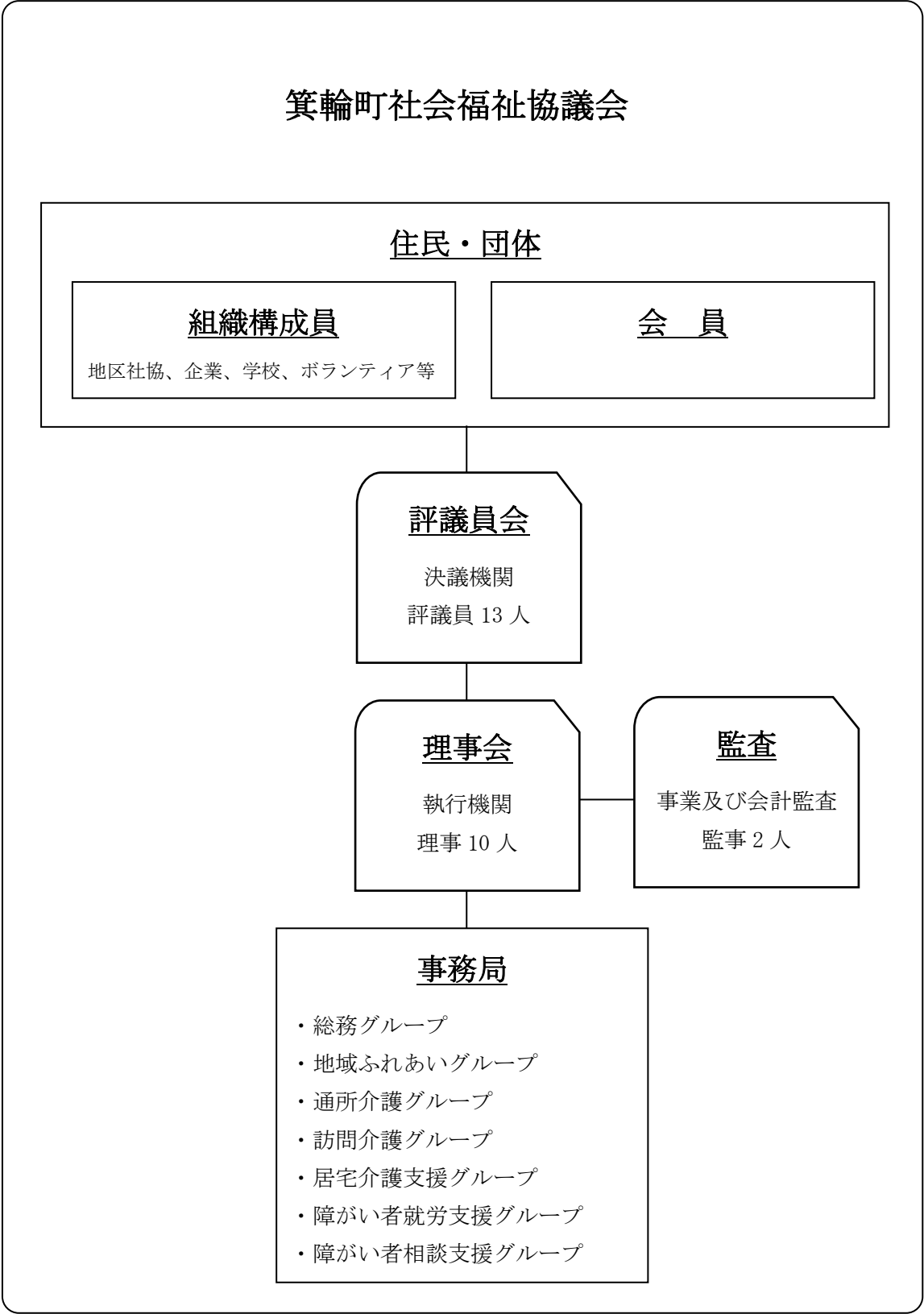
- 送迎車両の購入…（1 台購入）

<障がい者相談支援グループ>

- サービス利用支援費の見直し（機能強化型Ⅳ）

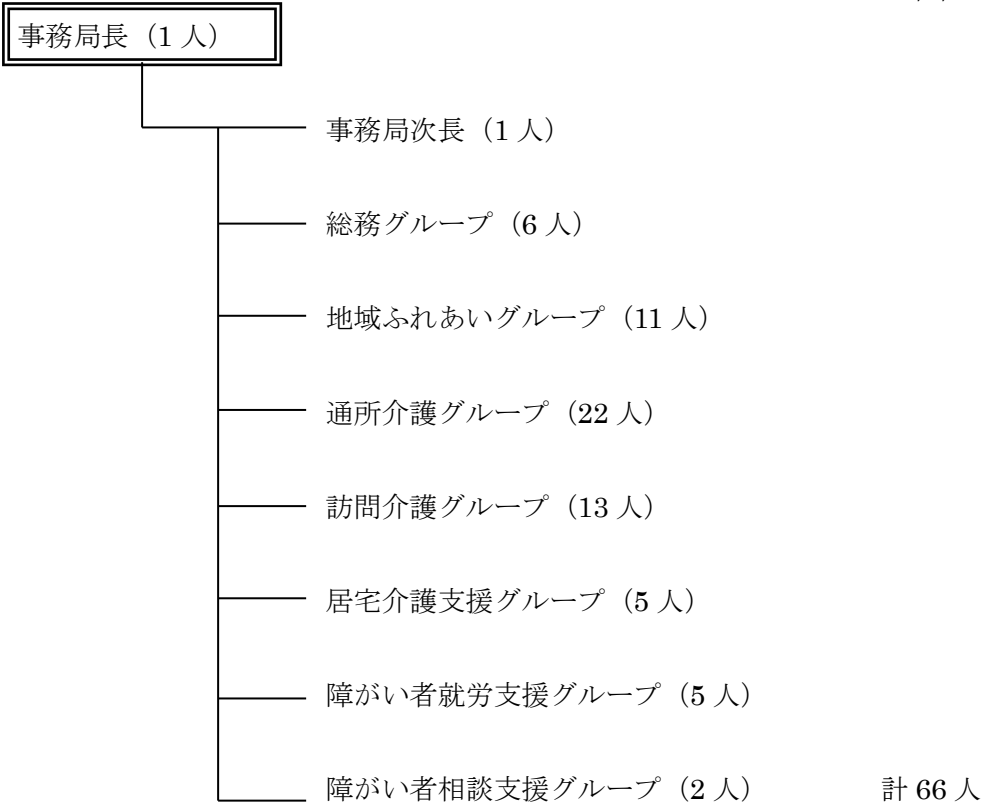
Ⅲ 組織及び職員配置

令和 8 年 3 月 31 日



IV 箕輪町社会福祉協議会 事務局組織

令和 8 年 3 月 31 日



事務局職員数

事務局長	1 人	役場より 1 人派遣
事務局次長	1 人	
グループリーダー	7 人	役場より 1 人派遣
総合正規職員	12 人	役場へ 1 人派遣、再雇用 1 人
一般正規職員	16 人	再雇用 1 人
パート職員	29 人	
合計	66 人	

職員数の推移

（各年度 4 月 1 日現在）	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
町派遣職員	1 人	1 人	2 人
総合正規職員	17 人	17 人	18 人
一般正規職員	20 人	15 人	15 人
再雇用職員	3 人	1 人	2 人
パート職員	35 人	33 人	29 人
合計	76 人	67 人	66 人

理事・監事・評議員

令和 8 年 3 月 31 日

理 事 【定数 10 人、現員数 10 人】

役 職	氏 名	選 出 区 分	所 属
会 長	中村 克寛	学識経験者	学識経験者
副会長	白鳥 実	箕輪町民生児童委員協議会長	箕輪町民生児童委員協議会長
理 事	平出 広志	箕輪町議会	箕輪町議会副議長
理 事	荻原 久吉	箕輪町区長会長	箕輪町区長会長
理 事	鳥山 暁	箕輪町教育委員会教育委員	箕輪町教育委員会教育委員
理 事	上田 幸生	箕輪町商工会長	箕輪町商工会長
理 事	小池 弘郷	箕輪町の職員又は理事者	箕輪町福祉課長
理 事	浅沼 秀夫	箕輪町長寿クラブ連合会長	箕輪町長寿クラブ連合会長
理 事	尾曾 共春	ボランティア団体	箕輪手話サークル会長
理 事	小林 成美	学識経験者	学識経験者

監 事 【定数 2 人、現員数 2 人】

氏 名	選 出 区 分	所 属
中村 政義	箕輪町議会	箕輪町議会議員
田中 浩美	会計経理に精通している者	学識経験者

理事・監事の任期：令和 7 年 6 月 18 日～令和 9 年 6 月定時評議員会の終結時まで

評 議 員 【定数 13 人、現員数 13 人】

氏 名	選 出 区 分	所 属
寺平 秀行	箕輪町議会	箕輪町議会議員
井上 博司	箕輪町民生児童委員協議会	箕輪町民生児童委員協議会副会長
浦野 杉子	箕輪町民生児童委員協議会	箕輪町民生児童委員協議会監事
那須 辰男	箕輪町区長会	福与区長
小島 常男	箕輪町長寿クラブ連合会	箕輪町長寿クラブ連合会副会長
伊東 久子	箕輪町手をつなぐ育成会	箕輪町手をつなぐ育成会会長
重盛すみ子	箕輪町身体障害者福祉協会	箕輪町身体障害者福祉協会会長
桑澤 晴美	ボランティア団体	箕輪町食器リサイクルの会代表
小平とし子	ボランティア団体	おいでなんしょ
三浦 浩平	箕輪町医師会	箕輪ひまわりクリニック院長
一ノ瀬美鳥	社会福祉法人	特別養護老人ホームみのわ園施設長
市川 英明	学識経験者	箕輪町公民館長
野澤 賢一	学識経験者	司法書士

評議員の任期： 令和 7 年 6 月 18 日～令和 11 年 6 月定時評議員会終結時

【総務グループ】

I 法人運営事業

予算・決算	収入予算：76,277,000 円 収入決算：62,233,352 円
事業区分	☒ 自主事業 ☒ 補助事業 ☐ 受託事業 ☐ その他 ☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	1-2 福祉活動の魅力を伝える 3-3 あんしん未来をつくる
組織設立	昭和 30 年 1 月 10 日
法人認可	昭和 46 年 6 月 23 日
事業の目的等	関係法令及び定款・規程等に基づき、公正で開かれた法人運営を行います。 【評議員会】 法人の運営に関わる重要な事項の議決を行い、理事の執行に対して監督をすることで適切な法人運営を行います。 【理事会】 業務に関する意思決定及び理事の職務執行の監督をすることで、適切な法人運営を行います。 【監事】 理事の職務執行を監査し、必要に応じ助言・指導等を行うことで、法令や定款等に基づいて適切な法人運営が行われるようにします。
令和 7 年度目標	法人として 4 つの取り組みを目指します。1)障がい者雇用を推進し法定雇用率を達成します。2)福祉サービス提供者としてその信頼性及び適正性の確保するため苦情解決に関する第三者委員会を設置します。3)職員のキャリアパス基準を見直します。4)判断能力が低下した方への支援を充実させるため権利擁護事業について検討します。
取組の成果	1)5 月 1 日から 1 人雇用し法定雇用率を達成しました。2)8 月に 3 人の第三者委員へ委嘱し苦情解決委員会を設置しました。3)キャリアパス基準の見直しを行い 10 月に全職員を対象に説明会を行い、11 月 1 日から運用を開始しています。4)10 月 1 日から関心の高い職員が中心となり法人後見業務検討委員会を発足し、11 回の検討を重ね 3 月にグループリーダー会へ提案書を提出しました。
課題等	社会のニーズが多様化し職員の安定的な確保と専門性をより磨くことが急務な課題であります。人材育成理念（いつもあなたとともに）に基づき、キャリアパスを日常業務に反映し定着する取り組みを深化させることが今後の課題であります。

< 具体的取り組み >

01 会議等の開催

(1) 理事会・評議員会等

日 付	会議名等	主な協議事項等
5 月 22 日	決算監査会	令和 6 年度事業報告 令和 6 年度決算状況報告 現金預金・定期預金・積立資金の照合
6 月 3 日	理事会	評議員候補者の推薦について 令和 6 年度事業報告承認・決算認定 社会福祉充実計画の承認 令和 7 年度補正予算 地域福祉事業拠点区分補正（第 1 号） 共同募金配分金事業拠点区分補正（第 1 号） 在宅介護事業拠点区分補正（第 1 号） 障がい者就労支援事業拠点区分補正（第 1 号） 資金貸付事業拠点区分補正（第 1 号） 執行状況報告 評議員会の招集
6 月 12 日	評議員選任・解任委員会	退任評議員の後任者選任について
6 月 18 日	評議員会	理事の選任について 監事の選任について 令和 6 年度事業報告承認・決算認定 社会福祉充実計画の承認 平成 7 年度補正予算 地域福祉事業拠点区分補正（第 1 号） 共同募金配分金事業拠点区分補正（第 1 号） 在宅介護事業拠点区分補正（第 1 号） 障がい者就労支援事業拠点区分補正（第 1 号） 資金貸付事業拠点区分補正（第 1 号）
6 月 18 日	理事会	会長、副会長の選任について 評議員選任・解任委員会委員の選任について 福祉サービス苦情解決委員会委員の選任について
11 月 13 日	中間監査会	令和 7 年 4 月～令和 7 年 9 月事業報告 令和 7 年 4 月～令和 7 年 9 月資金収支、財産状況報告 令和 7 年 9 月末現金預金・定期預金・積立資金の照合
11 月 27 日	理事会	評議員候補者の推薦について 令和 7 年度補正予算

		地域福祉事業拠点区分補正（第２号） 共同募金配分金事業拠点区分補正（第２号） 在宅介護事業拠点区分補正（第２号） 障がい者就労支援事業拠点区分補正予算（第２号） 執行状況報告 中間監査報告 評議員会の招集
12月17日	評議員会	令和７年度補正予算 地域福祉事業拠点区分補正（第２号） 共同募金配分金事業拠点区分補正（第２号） 在宅介護事業拠点区分補正（第２号） 障がい者就労支援事業拠点区分補正予算（第２号） 執行状況報告 中間監査報告
2月26日	理事会	専決処分の報告 評議員候補者の推薦 福祉サービス苦情解決委員会委員の選任 職員就業規則の一部改正 令和７年度補正予算 地域福祉事業拠点区分補正（第３号） 在宅介護事業拠点区分補正（第３号） 障がい者就労支援事業拠点区分補正（第３号） 太陽光発電事業拠点区分補正（第１号） 令和８年度事業方針 令和８年度当初予算 役員等賠償責任保険契約 評議員会の招集
3月17日	評議員選任・解任委員会	退任評議員の後任者選任について（書面決議）
3月18日	評議員会	理事の選任について 令和７年度補正予算 地域福祉事業拠点区分補正（第３号） 在宅介護事業拠点区分補正（第３号） 障がい者就労支援事業拠点区分補正（第３号） 太陽光発電事業拠点区分補正（第１号） 令和８年度事業方針 令和８年度当初予算

(2)苦情件数

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
福祉サービス苦情解決委員会	—	—	8 月 28 日
総務グループ	—	1 件	2 件
地域ふれあいグループ	—	1 件	3 件
通所介護グループ	—	0 件	10 件
訪問介護グループ	—	4 件	3 件
居宅介護支援グループ	—	2 件	0 件
障がい者就労支援グループ	—	0 件	0 件
障がい者相談支援グループ	—	0 件	0 件
合計	—	8 件	18 件

02 会員増強事業

(1) 会員数の推移

種別	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
一般会員（世帯）	6,301 世帯	6,174 世帯	6,122 世帯
特別会員（人）	18 人	16 人	19 人
法人会員（事業所）	125 事業所	119 事業所	145 事業所
合計	6,444	6,309	6,286

(2)会費納入内訳

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
一般会員（世帯）	5,040,500 円	4,938,900 円	4,897,600 円
特別会員（人）	36,000 円	32,000 円	38,000 円
法人会員（事業所）	749,000 円	705,000 円	896,000 円
合計	5,825,500 円	5,675,900 円	5,831,600 円

(3)会費使途内訳

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
地区社協推進事業	2,815,260 円	2,823,496 円	2,800,591 円
法人運営事業	1,585,111 円	1,359,730 円	2,255,791 円
ボランティア育成事業	375,000 円	474,985 円	180,000 円
あんしん未来創造事業	0 円	0 円	0 円
支えあい体制づくり推進事業	1,050,129 円	1,017,689 円	595,218 円

03 広報事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
ホームページ更新	年 12 回	年 12 回	随時

04 職員研修事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
キャリアパス生涯研修(外部研修)	10 人	10 人	14 人
新任職員研修（内部研修）	3 人	5 人	4 人
スキルアップ研修（内部研修）	6 回/平均 35.7 人	6 回/平均 40.6 人	6 回/平均 39.0 人

05 職員福利厚生事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
職場内カウンセリング面談者人数	7 人	10 人	7 人
職員資格取得費用助成事業	1 人	0 人	0 人

06 実習生受入れ事業

項目	人数	内容	学校等	受入先
学生	1 人	介護（地域実習）	飯田短期大学	通所介護
一般	1 人	実務研修	長野県介護支援専門員研修	居宅介護支援
学生	3 人	職場実習	長野県伊那支援学校	障がい者就労支援
中学生	2 人	職場体験学習	箕輪中学校	通所介護
一般	1 人	介護労働講習	(公財)介護労働安定センター	通所介護

07 他社会福祉協議会との交流・連携

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
豊島区民社協(H24~)	12/6 2 人参加	11/23 和光市にて	—
和光市社協(H25~)	11/25 4 人参加	10/15~16 来町 11/23 4 人参加	11/22 4 人参加
秩父市社協(R5~)	12/6 豊島区にて	11/23 和光市にて	—

08 職員派遣

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
災害時相互応援協定先	0 件	0 件	0 件

09 長寿クラブ連合会事務局

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
連合会加入クラブ数	14 団体／20 団体	14 団体／20 団体	11 団体/18 団体
連合会員数	926 人	808 人	534 人

10 地域福祉活動計画推進事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
職員内部評価	B (概ね実施している)	B (概ね実施している)	C (実施しているが課題がある)

11 法律相談

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
相談件数	29 件	19 件	15 件

12 寄付金・寄付物品

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
寄付金・遺志金	26 件 974,331 円	27 件 1,150,404 円	30 件 1,152,806 円
寄付物品	24 件	8 件	13 件

13 社会福祉充実計画事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
計画内容	地区社協造成交付金等	無	車両 2 台購入
執行金額	22,263,000 円	無	3,149,990 円

14 キャリアパス制度の運用

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
面談等	—	—	職員説明会 2 回、11 月

15 事業継続計画 (BCP)

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
更新・研修	7/13 研修	11/14 研修	7/1 更新・11/25 研修

16 施設指定管理者

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
箕輪町デイサービスセンター	○	○	○
箕輪町老人福祉センター	○	○	○

17 労働災害発生状況

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
法人全体	1 件	0 件	1 件

II 慰霊祭事業

予算・決算	収入予算：323,000 円 収入決算：322,454 円		
事業区分	☐ 自主事業	☐ 補助事業	☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	1-1 郷土愛を育てる		
事業開始	昭和 46 年		
事業の目的等	戦没者の慰霊祭		
令和 7 年度目標	ご来賓、ご遺族また一般の方にもご参加いただき町内戦没者の英霊に誠を捧げます。地域の歴史と想いを大切にし、感謝と追悼の気持ちをつなぎます。		
取組の成果	歌とピアノ演奏も捧げ、その温かく透き通る音色に、亡くなられた先人に思いを馳せ涙する方々もおられました。心静かに町内戦没者 602 柱に黙祷を捧げ、平和の尊さを語り続けるような時と空間作りを心掛けました。		
課題等	終了後に参加者にお持ち帰りいただく供花をまとめるのに時間がかかります。なるべくお待たせしないよう今後も他の社協職員に協力をお願いしていきます。		

< 具体的取り組み >

01 戦没者慰霊祭

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開催場所	町文化センター	町文化センター	町文化センター
参列者数	75 人	70 人	72 人
実施日	6 月 22 日	6 月 27 日	6 月 25 日

III げんきセンター南部管理運営事業

予算・決算	収入予算：968,000 円 収入決算：967,859 円		
事業区分	☐ 自主事業	☐ 補助事業	☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-3 役割が地域で生きる		
事業開始	平成 22 年		

事業の目的等	町から一部事務を委託され運営管理を行い、利用者が快適にトレーニングできる環境づくりを行います。
令和 7 年度目標	清掃、備品管理、集計、チケット販売を滞りなく行います。 利用者からの意見、要望を町へ伝えより使いやすい環境を整えます。
取組の成果	施設の開錠、閉錠が自動になり、当初は祝日に開錠していないトラブルがありましたが、その後は順調に運用できています。清掃業務をシルバー人材センターが撤退したため、社協職員で対応することになり、障がい者雇用の職員が担当し清掃も行き届いています。町職員と随時連携をはかりながら対応しました。
課題等	読み取り機のトラブルを町職員がすぐに対応できない場合があり、貼り紙で対応しています。

< 具体的取り組み >

01 げんきセンター南部管理運営

契約名	施設名
運営管理業務委託契約	げんきセンター南部 誓約

IV 地区社協推進事業

予算・決算	収入予算：2,816,000 円 収入決算：2,800,591 円
事業区分	☒ 自主事業 ☐ 補助事業 ☐ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-2 人と人を結ぶ
事業開始	平成 8 年
事業の目的等	地区社会福祉協議会の育成振興を助長し、地域住民の連帯と協働によって地域福祉の推進を図るために実施します。
令和 7 年度目標	地区社協活動の推進やふれあい花壇事業による高齢者の地域福祉の推進を図れるよう速やかに補助金を交付します。
取組の成果	5 月の地区社協会長会にて事業説明を行い、6 月に交付しました。今年度は松島の花壇が 2 か所になりました。各区で長寿者慰安会等の開催や、花壇の維持管理に活用していただきました。
課題等	地区社協会長が 1 年で交替する地区が多く、書類の作成や報告が遅れる区もあります。丁寧な説明を心掛け有効に活用していただけるようにします。

＜具体的取り組み＞

01 地区社協運営事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
対象団体等	15 区	15 区	15 区
補助金額	2,560,000 円	2,560,000 円	2,560,000 円

02 ふれあい花壇事業（長寿クラブ）

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
対象団体等	14 団体	14 団体	14 団体
補助金額	240,000 円	240,000 円	225,000

03 地区社協会長会

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施日	5 月 22 日	5 月 20 日	5 月 21 日

V 福祉用具貸出事業

予算・決算	収入予算：335,000 円 収入決算：331,720 円		
事業区分	☒ 自主事業	☐ 補助事業	☐ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	3-3 あんしん未来をつくる		
事業開始	昭和 53 年		
事業の目的等	車いす等の日常生活用具や福祉教育教材等を貸出することにより、日常生活に便宜を図り自立した生活がおくれるよう支援するとともに、地域福祉団体の活動を推進する。		
令和 7 年度目標	貸出物品一覧を社協ホームページ、社協だよりふれあいにも掲載して周知し、住民の皆さまが活用しやすいようにする。社協会員のメリットとなるよう日常生活用具の貸出を社協会員としていきます。		
取組の成果	福祉車両と車いすの貸出件数は増加しました。福祉車両は 2 台体制となっており、ほぼ希望に沿うことができました。ご寄付いただいた介護予防 DVD もサロン等で活用していただいています。日常生活用具の貸出を社協会員にするにあたり、他の社協の様子を聞いたり、要綱などの見直しをしました。また、社協だより『ふれあい』と町のケアマネジャー連絡会にて周知しました。		
課題等	貸出車両について、原因不明の傷があり修理しました。貸出し前後に、職員が利用者さんと一緒に車両内外の点検を実施するようにしました。そのため、休日の返却を不可としたため、あらためて営業時間内に返却していただくことになっています。		

< 具体的取り組み >

01 福祉車両

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
福祉車両	124 件	129 件	183 件

02 車いす

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
福祉用具（車いす）	20 件	23 件	29 件

03 ポータブルトイレ

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
福祉用具（トイレ）	9 件	8 件	2 件

04 福祉教育教材、備品の貸出し

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
その他	55 件	49 件	36 件

VI 共同募金配分金事業

予算・決算	収入予算：2,470,000 円 収入決算：2,380,855 円		
事業区分	☐ 自主事業	☐ 補助事業	☐ 受託事業 ☒ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	3-3 あんしん未来をつくる		
事業開始	昭和 46 年		
事業の目的等	長野県共同募金会からの配分金を財源に、各種団体への助成や「社協だより ふれあい」の発行と社会福祉大会を実施します。		
令和 7 年度目標	配分金の使途、計画募金というしくみについて、福祉活動推進員説明会にて丁寧に説明をし理解を得るようにします。		
取組の成果	新規で児童・青少年事業への応募があり助成しました。審査委員会では活発に意見交換がありました。各福祉団体の活動に有効に活用していただきました。		
課題等	常会加入者の減少により募金額も減少しています。 助成を受けた福祉団体の活動内容を紹介していくようにし、また募金活動への協力を促していきます。		

< 具体的取り組み >

01 高齢者事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
配分件数	1 件	1 件	1 件

02 障がい児・者事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
配分件数	2 件	2 件	2 件

03 児童・青少年事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
配分件数	0 件	0 件	1 件

04 住民全般事業

(1) 社協だより ふれあい

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
発行部数	10,260 部	10,360 部	10,430 部

(2) 箕輪町社会福祉大会

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開催場所	町文化センター	町文化センター	町文化センター
参加者数	約 380 人	約 380 人	約 380 人
実施日	2 月 3 日(土)	11 月 30 日(土)	8 月 30 日 (土)

VII ゆとり荘太陽光発電事業

予算・決算	収入予算：2,005,000 円 収入決算：1,895,866 円		
事業区分	☒ 自主事業	☐ 補助事業	☐ 受託事業
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業
事業根拠	3-3 あんしん未来をつくる		
事業開始	平成 25 年		
事業の目的等	平成 25 年度から、社会福祉事業の遂行のための財源確保、再生可能なクリーンエネルギーへの取り組みのため、ゆとり荘屋根を利用し太陽光発電を行い発電した全電気は中部電力パワーグリッド(株)に売電し、これにより得る収益は社会福祉事業に充てるため実施します。		
令和 7 年度目標	発電量が低下しているため業者に点検を依頼し、原因に対処します。		

取組の成果	更に発電量の低下がみられ、収益があがらず社会福祉事業に充てることができませんでした。
課題等	平成 31 年頃より年々発電量が減っており、当初の返済計画から遅れています。業者に点検を依頼しましたが原因が特定できず、今後、発電量を計測する器械を取り付けるかが課題です。

< 具体的取り組み >

項目	売電量 (kwh) / 売電料金 (円)		
	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
合 計	53,562 kwh/2,086,699 円	50,313 kwh/1,905,339 円	49,935kwh/1,895,866 円
月平均	4,464 kwh/173,892 円	4,193 kwh/158,778 円	4,161kwh/157,989 円

【地域ふれあいグループ】

I あんしん未来創造事業

予算・決算	収入予算：1,164,000 円 収入決算：1,142,117 円
事業区分	☒ 自主事業 ☐ 補助事業 ☒ 受託事業 ☐ その他 ☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	3-2 安心の手と手がつながる
事業開始	平成 11 年
事業の目的等	様々な課題を抱える人が、一人ひとり尊重されながら自立した生活を送れるよう、包括的に相談を受け止め、本人の意思決定を大切にした伴走型支援を行います。
令和 7 年度目標	利用者の意思を尊重し、ニーズに寄り添う支援を行います。また、安定したサービスが実施できるよう、定期的なモニタリングを実施しサービス評価を行います。
取組の成果	金銭管理財産保全サービスは、新規契約が 4 件、解約が 3 件、日常生活自立支援事業は解約が 1 件ありました。新規の相談については、いわゆる浪費によるお金の使い方がうまくいかないといった理由が多く、家計相談を入口に慎重な相談対応をさせていただいたため、サービスをお断りさせていただいた事例が多数ありました。
課題等	金銭管理財産保全サービスについて、書類の保管やチェック体制は継続的に実施できているが、令和 8 年度は外部のチェック体制を整備しより安定したサービスの提供が行えるように努めます。

< 具体的取り組み >

01 金銭管理財産保全サービス事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
契約者数	22 人（内新規 1 人）	14 人（内新規 0 人）	15 人（内新規 4 人）
利用回数	延べ 524 回	延べ 328 回	延べ 345 回

02 日常生活自立支援事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
契約者数	11 人（内新規 0 人）	6 人（内新規 0 人）	5 人（内新規 0 人）
利用回数	延べ 373 回	延べ 394 回	延べ 392 回

03 長野県あんしん未来創造センター関連事業

内容	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
あんしん創造ねっと新規申請	2 件	3 件	3 件

※3 件とも入居補償

04 生活福祉資金貸付事業

令和 7 年度				
貸付種類	新規貸付 件数(件)	新規貸付額（円）	令和 7 未償還残高利子 利息含（円）	償還割合
生活福祉	1	57,000	4,182,976	37.6
緊急小口資金	1	100,000	852,418	44.6
教育支援資金 就学支度費	2	1,801,000	5,927,689	13.3
合計	4	1,958,000	10,963,083	25.1

Ⅱ ボランティア育成事業

予算・決算	収入予算：1,255,000 円 収入決算：1,015,304 円			
事業区分	☐ 自主事業	☐ 補助事業	☒ 受託事業	☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業	☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	1-3 福祉を学ぶ			
事業開始	平成 3 年			
事業の目的等	箕輪町地域福祉計画に基づき、地域福祉推進のためのボランティアの育成と活動を推進するために実施します。			
令和 7 年度目標	ボランティアセンター6 年間計画に基づき、次の 5 点に取り組みます。			

	1 今の時代にあった分かりやすい情報、ボランティアの魅力発信 2 ボランティアを身近に感じる事業、取り組み 3 無理なく、短時間でも参加できる自由な活動の場づくり 4 活動を実感できるようなサポート 5 これからのボランティアの形を考える
取組の成果	傾聴ボランティア養成講座をきっかけに、受講者の一部が新たなボランティア活動に繋がることができました。また、ボランティアというイメージを身近に感じるために企画したちよいボラ企画をきっかけにボランティア登録者が増加しました。 ボランティア登録団体連絡会やボランティア団体 PR 動画の作成により、既存のボランティア登録団体の活動サポートを行いました。 令和 7 年度は、ふれあい広場を休止、検討委員会を発足し、現状を整理するとともに今後のふれあい広場の在り方について検討いたしました。 出張ボランティアサロンとして、みのわ BASE を会場に実施したところ、来場者に関心をもってもらう機会となりました。
課題等	ボランティアセンターLINE 公式アカウントの登録者数がほぼ横ばいとなり、ボランティア活動、情報、魅力の発信手段の拡大が課大きな題となりました。

< 具体的取り組み >

01 ふれあい広場事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
期日	9 月 17 日	9 月 7 日	1 年間休止し、検討委員会を実施。 ・検討委員 9 人 ・検討委員会 4 回 ・視察学習 2 か所
会場	文化センター	文化センター	
来場者数	約 800 人	約 900 人	
実行委員 協力スタッフ数	31 団体 45 人 33 団体	27 団体 46 人 33 団体	

02 上伊那ブロックボランティア交流研究会事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
内容	出店ブース巡り	出店ブース巡り	出店ブース巡り
期日	12 月 2 日（土）	11 月 23 日（土）	11 月 15 日（土）
参加者数	185 人	170 人	180 人
会場	伊那文化会館	宮田村民会館	飯島町文化館

03 人材育成事業

(1) ちょいボラ講座

項目	第 1 回	フォローアップ	第 2 回
内容	傾聴ボランティア養成講座	傾聴ボラ養成講座受講者へのフォローアップ座談会	アート交流会
期日	令和 7 年 7 月 24 日	令和 8 年 1 月 28 日	令和 8 年 2 月 28 日
参加者数	29 人	12 人 (受講者 6 人、活動者 6 人)	21 人

(2) 学校福祉体験

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
中部小福祉体験	13 クラス	12 クラス	12 クラス
南小福祉体験	4 クラス	4 クラス	4 クラス
東小福祉体験	4 クラス	4 クラス	3 クラス
北小福祉体験	5 クラス	6 クラス	6 クラス
西小福祉体験	—	—	2 クラス
箕中福祉体験	7 クラス	7 クラス	5 クラス

(3) 福祉教育担当者連絡会

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開催日	6 月・2 月	6 月・2 月	6 月・2 月
参加団体数	14 団体・12 団体	17 団体・11 団体	14 団体・12 団体
会場	社会福祉総合センター	町地域交流センター	町地域交流センター

(4) 社会福祉普及校事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
対象団体等	6 校	7 校	6 校
補助金額	150,000 円	175,000 円	150,000 円

04 情報発信事業

(1) ボランティアセンターLINE 公式アカウントの運用

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
ボランティアセンターLINE 公式アカウント登録者数	165 人	184 人	186 人
発信回数	17 回	24 回	14 回

(2)ボランティア登録団体活動 PR 動画作成

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
作成団体数	5 団体	5 団体 (内 2 団体再作成)	4 団体 (内 2 団体再作成)

05 ボランティア活動支援事業

(1)ボランティア相談件数

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
件数	161 件	165 件	229 件
★主な相談内容（一部抜粋） ・車いすのサポートのボランティアをお願いしたい。 ・ごみ捨て支援をお願いしたい。 ・イベントの当日ボランティアを募集したい。 ・こども食堂の調理ボランティアを紹介してもらいたい。 ・高校ボランティア部の活動紹介の場を考えたい。 ・託児ボランティアの募集をしたい など			

(2)ボランティア団体、個人ボランティア登録数

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
ボラ団体	50 団体 1,032 人	58 団体 1,174 人	59 団体 1,221 人
個人ボラ	89 人	135 人	152 人

(3)ボランティア登録団体連絡会

項目	令和 7 年度
開催日	7 月 3 日
参加団体数（人数）	17 団体（22 人）

(4)ボランティア団体活動育成補助事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
対象団体等	18 団体	21 団体	1 団体
補助金額	285,000 円	299,985 円	30,000 円

06 フードバンクみのわ事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
支援件数	188 件	173 件	169 件
受入れ件数	89 件	81 件	79 件

07 ふれ愛サポーターズ事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数	13 回	11 回	12 回
参加人数	6 人	6 人	5 名

Ⅲ すまいるサポート事業

予算・決算	収入予算：2,402,000 円 収入決算：2,196,256 円		
事業区分	☐ 自主事業	☐ 補助事業	☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-2 人と人を結ぶ		
事業開始	平成 24 年		
事業の目的等	認知症にやさしいまちを実現するため、認知症の当事者とその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる町づくりを推進します。		
令和 7 年度目標	地域住民が認知症の人と家族の思いに触れる機会を増やし、見守り協力団体が役割を意識して地域と共に学ぶ場を広げ、さらに認知症の方と家族が思いを語り役割を持って参加できる機会を創出します。		
取組の成果	認知症見守り協力団体「すまいる」に新たに 3 団体の登録（1 団体脱退）があり、見守りの輪が広がりました。また、登録いただいている団体を対象に情報交換会を実施し、それぞれの役割や意識啓発につながりました。 また、認知症家族の会のぞみの会に新しい参加者が増え、介護者同士の悩みの共有の場、当事者の居場所づくりが広がりました。		
課題等	認知症見守り協力団体「すまいる」の登録団体の中には、担当者の変更に伴い、取り組みの引継ぎや共有やされていない状況も確認されました。本事業が継続性のある事業となるよう、令和 8 年度の推進委員会の場で検討を深めます。		

< 具体的取り組み >

01 認知症見守り協力団体「すまいる」登録促進

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
登録数	108 団体	115 団体	117 団体

02 あんしん見守りサービス登録

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
登録者数	5 人(14 人)	1 人(7 人)	4 人(11 人)

03 認知症サポーター養成講座

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
受講者数	6 回・529 人	3 回・51 人	3 回・51 人

04 のぞみの会（認知症家族の会）

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数・参加者数	12 回・158 人	12 回・133 人	12 回・162 人

05 認知症フォーラム

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数・参加者数	9 月 2 日・249 人	2 月 21 日・46 人	11 月 22 日・49 人

06 情報交換会

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数・参加者数	9 月 2 日・26 人	10 月 23 日・38 人	1 月 23 日・40 人

IV 支えあい体制づくり推進事業

予算・決算	収入予算：24,074,000 円 収入決算：21,827,427 円		
事業区分	☐ 自主事業	☐ 補助事業	☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-2 人と人を結ぶ		
事業開始	平成 26 年		
事業の目的等	単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症高齢者、生きづらさを抱えて社会から孤立する世帯が増加する中で、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、地域福祉コーディネーターが地域に入り込み、多様な主体（地域住民、地縁組織、ボランティア組織、NPO 法人、民間企業、協同組合、民生児童委員等）と連携し、日常生活上の支援体制の充実、社会参加の推進を図ることを目的とした事業です。		
令和 7 年度目標	「地域とともに、あらゆる生活課題の対応を目指します」を最大目標に、地域福祉コーディネーターが地域へ出向き、住民の声に向き合い、一つ一つ細やかな対応を心がけます。		
取組の成果	長寿クラブの解散やいきいき塾の一部終了等の理由を背景に、関心のある地域住民が中心にふれあいサロン活動が 5 か所新たに立ち上がり（2 団体終了）、高齢者の地域の居場所が広がりました。 令和 7 年度は、地域の良いところから地域づくりを考えるという新たな視点を学ぶ機会として、9 月に箕輪町地域支えあい会議を開催しました。約 50 人の参加者があり、“お宝発見”の視点を学び合い、令和 8 年		

	度の小学校区支えあい会議に向けた足がかりとなりました。
課題等	少子高齢化、就労年齢の高齢化、常会未加入者の増加など地域コミュニティが変化する中、長期ビジョンを描き地域づくりを進めていく必要がある。令和８年度は、福祉懇談会など地域と話し合いの機会を設け、今後の方向性について検討していきます。

< 具体的取り組み >

01 地域福祉コーディネーター実績

項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
年間活動件数	2,121 件	2,817 件	2,228 件
① 地域活動支援	264 件	333 件	261 件
② 話し合いの場	198 件	206 件	110 件
③ ボランティア	161 件	165 件	256 件
④ ニーズ把握	439 件	1,266 件	893 件
⑤ 間接的支援	76 件	357 件	460 件
⑥ 直接的支援	581 件	943 件	107 件
⑦ 環境整備	103 件	85 件	141 件

02 ふれあいサロン事業

(1)設置状況

項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
登録サロン数	37 団体	37 団体	41 団体
実施回数	285 回	293 回	359 回
運営補助金	285,000 円	288,000 円	355,000 円
参加者数	3,670 人	3,851 人	4,312 人

(2)ふれあいサロン代表者連絡会の実施

開催日	参加者数	内 容
7 月 4 日	21 人	意見交換・DVD 紹介
2 月 6 日	44 人	講師：「笑顔配達人」竹中 雅幸氏 補助金保険事務説明・笑顔と元気を引き出す レクリエーション講座

03 支えあい学習会

(1) 箕輪町地域支えあい会議の開催

開催日	参加者数	内 容
9 月 9 日	49 人	講師：戸田千登美氏 “お宝発見”の視点でグループワークを実施

(2) 職員出前講座の実施

開催回数	内 容
10 回	ボッチャ講座、避難所運営ゲーム HUG、認知症講座、介護保険制度、健康レクリエーションなど

04 インフォーマルサービスの資源整理

(1) 箕輪町暮らしの生活ガイドの作成

掲載情報	掲載事業所数	発行部数	配布先
家事支援等に関するサービス	12	1,000 部	ケアマネジャー・相談支援専門員・包括支援センター地域福祉コーディネーター・MSW・民生委員児童委員など
配食（配達）に関するサービス	8		
移動支援に関するサービス	12		

V 生活困窮者相談支援事業

予算・決算	収入予算：9,941,000 円 収入決算：9,940,102 円		
事業区分	☐ 自主事業	☐ 補助事業	☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	3-2 安心の手と手がつながる		
事業開始	令和 2 年		
事業の目的等	生活に困りごとを抱える人が、早い段階で相談につながり、生活再建に向けた支援を受けられるような相談支援を行います。		
令和 7 年度目標	一人一人の相談を丁寧を受け止め、必要な機関につながります。		
取組の成果	令和 7 年度は、新規相談者数は 28 人と前年度より減少したものの、全体の対応件数は 592 件にのびました。このうち、家計相談は 76 件で、継続的な支援を実施しました。		
課題等	相談内容は、収入の減少、就労に関する課題、浪費による家計維持の困難、住居の確保、対人関係や健康問題など多岐にわたりました。中でも、安定した就労が継続できないことによる困窮相談が多くあり、関係機関とも連携しましたが、解決につながらない方が多くありました。本人の特性や状況に合わせて必要な就労につながるサポートが重要になっております。		

< 具体的取り組み >

01 生活困窮者相談対応

(1) 初期相談件数

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
生活困窮者 初期相談件数	36 人	40 人	28 人

(2) 相談対応実績

相談対応件数	電話対応件数	訪問対応件数	その他（来所／メール／LINE 等）
592 件	330 件	134 件	128 件

(3) 家計相談件数

相談対応件数
76 件

02 まいさぼ出張相談所

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
まいさぼ上伊那への連絡延べ件数	78 件	103 件	48 件

03 なんでも相談会（SOS 相談会）

年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数	22 回	19 回	12 回
相談者延べ数	738 人(町民 294 人)	670 人(町民 267 人)	342 人(町民 126 人)

Ⅵ 子どもの学習生活支援事業（まなびサポートみのわ）

予算・決算	収入予算：261,000 円 収入決算：336,253 円
事業区分	☐ 自主事業 ☐ 補助事業 ☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-3 役割が地域で活きる
事業開始	令和 2 年（※令和 5 年～6 年事業休止）
事業の目的等	ひきこもりや不登校などにより学習機会が不足している子どもに対し、学習支援協力員と連携して家庭訪問などの個別支援を行い、学習面・生活面のサポートを通じて自立を促し、生きる力を育むことを目的とします。また、子どもへの支援をきっかけに保護者等からの相談も受け、必要に応じて関係機関へつなぎ、適切な支援につなげます。
令和 7 年度目標	令和 7 年度から事業を再開します。一人ひとりの子ども、家庭に寄り添い、焦らずゆっくりと学習支援協力へつなぎ、生活課題や学習支援を行います。
取組の成果	初年度の目標として 3 ケースのマッチングを掲げていましたが、想定を上回る相談が寄せられ、そのうち 3 世帯 4 人について、学習支援協力員 4 人とのマ

	ッチングを実施することができました。 相談対応にあたっては、学校、こども未来課、南信教育事務所など関係機関と連携し、子どもの特性や状況に応じた学習支援や生活支援など、オーダーメイドの支援につなげることができました。
課題等	それぞれの子どもにあったサポートを提供するため、より多くの学習支援協力員の発掘と育成が必要になってきております。また、複雑な課題を抱えている世帯に対応するため、職員を含めた総合的なスキルアップに取り組んでいます。

< 具体的取り組み >

01 学習生活支援事業登録

年度	令和 7 年度
小学生	2 人
中学生	2 人
高校生	0 人

02 学習支援協力員コーディネート

年度	令和 7 年度
協力員の登録	8 人
マッチング件数	4 人

VII 子どもの居場所づくり推進事業

予算・決算	収入予算：1,803,000 円 収入決算：1,638,361 円
事業区分	☐ 自主事業 ☐ 補助事業 ☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-3 役割が地域で活きる
事業開始	令和 4 年
事業の目的等	箕輪町の子どもとその保護者が、地域の中で孤立することなく、安心して過ごし相談できる「居場所」を確保するための支援を行います。 また、困難を抱える子育て世帯は複合的な課題を抱える場合もあることから、多様な相談支援につなげられるよう、地域の子育て支援者と連携し、柔軟な支援を提供するコーディネーター事業を実施します。
令和 7 年度目標	東小学校区にこどもの居場所の登録が無いため、住民のニーズをキャッチしながら新しい活動の立ち上げに向けたアプローチを行う。困難を抱えた世帯にあせらず、あきらめずつながり続ける。
取組の成果	東小学校区のこども食堂として、5 月にイベントの開催までつながりました。しかしながら、定期開催までには至らなかったため、関心をもってくださっているお寺に引き続きアプローチを続けていきます。

	現在登録がある 10 か所のこどもの居場所については、活動が安定しそれぞれ定期的な開催が実施されており、年 3 回の連絡会で互いの活動課題や情報交換を実施いたしました。
課題等	東小学校区エリアでのこどもの居場所の開発を引き続き進めます。

< 具体的取り組み >

01 アウトリーチ・相談支援

年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
こども世帯支援	71 回	31 回	69 回
個別支援会議	8 回	5 回	9 回

02 子どもの居場所づくり

年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
こども世帯支援	71 回	31 回	69 回
個別支援会議	8 回	5 回	9 回
こどもの居場所訪問・支援	40 回	80 回	85 回
こどもの居場所連絡会の開催	3 回	3 回	3 回
こどもの居場所の推進	7 団体	10 団体	10 団体

Ⅷ 障がい者の社会参加と生きがいつくり事業

予算・決算	収入予算：222,000 円 収入決算：219,700 円
事業区分	☐ 自主事業 ☐ 補助事業 ☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-3 役割が地域で活きる
事業開始	令和 4 年
事業の目的等	障がい者の社会参加を促し、共生社会の実現のために実施します。
令和 7 年度目標	これまでのボッチャ交流大会からスポーツ交流会へ内容を変更し、幅広い障がい当事者に参加していただけるように取り組む。
取組の成果	イベント当日は、44 人の障がい当事者の参加があり、幅広いスポーツに内容を変更したことで、参加者の増加につながりました。実際に参加者から、「楽しそうに参加した」「スポーツの種目が複数あり選択できた」「スタンプラリーなど工夫があった」など、好評をいただきました。
課題等	開会式が長く疲れてしまったなど、配慮が足りない部分がありました。アンケート結果をもとに令和 8 年度の実行委員会で検討していきたいと考えております。

< 具体的取り組み >

01 障がい者スポーツ交流会

年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施日	3 月 3 日	11 月 3 日	10 月 25 日
参加者（当事者数）	87 人（29 人）	77 人（28 人）	99 人（44 人）

※R5～6 は、ポッチャ交流大会として開催し、R7 はスポーツ交流会として実施。

IX 重層的支援体制整備事業

予算・決算	収入予算：9,929,000 円 収入決算：9,928,784
事業区分	☐ 自主事業 ☐ 補助事業 ☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	3-2 安心の手と手がつながる
事業開始	令和 5 年
事業の目的等	住民、関係機関等と連携し、複雑化・複合化した課題を抱えながらも支援が行き届いていない住民を把握します。対象者への訪問を始めとする多様な手段を用いて本人と信頼関係を築き、支援者へつなぐ取り組みを実施します。
令和 7 年度目標	切れない支援を心がけ、つながり続けることを大切に関わります。
取組の成果	14 世帯に対し、あきらめずかわり続ける支援を行いました。 サービスが必要と思われる方でも、支援を望んでいなかったり、人とのつながりが苦手な方に対し、かわり続けることで保健師や関係機関とつながることができました。
課題等	継続的に関わり続けることに注力して取り組んでしましたが、目標設定や支援の終了について、具体的な目標を定めていなかったため、支援終了のタイミング等があいまいとなっております。令和 8 年度は、一人ひとり具体的なプランを作成し事業に取り組めます。

< 具体的取り組み >

01 アウトリーチ等通じた継続的支援

内容	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
対象世帯件数	8 件	17 世帯	14 世帯
情報収集、事前調査支援件数	63 件	228 件	166 件
本人との信頼関係、つながりづくり	11 件	134 件	96 件
町重層的支援会議への出席	8 件	8 件	5 件

X 特例貸付相談支援体制強化事業

予算・決算	収入予算：7,267,000 円 収入決算：6,215,712 円
事業区分	☐ 自主事業 ☒ 補助事業 ☐ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	3・1 安心の窓口を見つける
事業開始	令和 5 年
事業の目的等	新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急小口資金等特例貸付後、償還が困難になっている世帯や新たな生活課題を抱えている世帯などに対する相談支援の体制を強化します。
令和 7 年度目標	電話での状況確認の他、プッシュ型の訪問等支援を行い、つながりが築けていない 133 世帯のうち 5 割の 67 世帯とつながりを再構築し、生活再建に向けたサポートを伴走的に行う体制を構築します。
取組の成果	主に窓口相談及び電話・訪問等のアウトリーチによるプッシュ型のフォローアップ支援を実施し、借受人リスト 252 人中 122 人の借受人と再コンタクトすることができました。また、直接接続が叶わなかったものの、借受人の家族や同居人を含む連絡手段の確保ができた件数は 15 人となりました。
課題等	連絡手段の確立が出来なかった借受人は 115 人となりました。アプローチをし続けても未応答が続き連絡の付かない方が居ることや、償還が滞っていても「大丈夫」「必要ない」と面談を拒否する方が多い実情を踏まえ、社会的孤立の防止・継続的な個別支援・関係機関や各種制度への接続等が必要と考えます。また、借受人のワークライフバランスを考えた上で、相談しやすい環境を用意することも必要になっております。

< 具体的取り組み >

01 貸付者フォローアップ

年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
電話連絡	—	90 件	534 件
来所面談	—	37 件	41 件
訪問件数	—	10 件	58 件
メール等	—	19 件	63 件
関係機関との連携件数	—	257 件	561 件

XI 厚生資金貸付事業

予算・決算	収入予算：550,000 円 収入決算：10,000 円
事業区分	☒ 自主事業 ☐ 補助事業 ☐ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	3-2 安心の手と手がつながる
事業開始	昭和 46 年 6 月 23 日
事業の目的等	低所得により生活の維持が困難となっている世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行い、経済的自立の促進、生活意欲の向上を図り、生活改善のお手伝いを行います。
令和 7 年度目標	緊急的な支援を要する方に対し、早期の経済的自立を促進するとともに、滞納防止と生活の安定化を図るため、継続的な伴走支援を実施します。
取組の成果	生活保護受給開始までの一時的な生活費の貸付として、1 世帯に貸付を実施、福祉事務所による代理納付で返済いただきました。未償還の世帯について、近況確認等を実施しました。
課題等	未償還の 6 世帯については、長期にわたり返済できない状態となっております。うち、2 世帯については所在が分からない状態となっております。令和 8 年度は、具体的なアプローチを検討します。

< 具体的取り組み >

01 厚生資金貸付

(単位：円)

令和 7 年度末					
資金種類	①決定額	②債権件数 債権額(③+⑤)	③返済額	④償還免除額	⑤未償還残高 令和 8 年度繰越債権
生活資金	231,000	7 件 231,000	1 件 10,000	0 件 0	6 件 221,000
(内新規)	10,000	1 件 10,000	10,000	0 件 0	0 件 0

【通所介護グループ】

I いきいきデイサービス事業

予算・決算	収入予算：1,350,000 円 収入決算：1,525,166 円
事業区分	☐ 自主事業 ☐ 補助事業 ☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-3 役割が地域で活きる
事業開始	平成 12 年
事業の目的等	三日町、福与、一部木下を含む町南部地域に暮らす高齢者の閉じこもり防止、生きがいつくり、介護予防を目的に定期的に顔なじみの人との交流を用いて、活動的で生きがいのある暮らしや日々の生活を送ることができることを目標に実施します。
令和 7 年度目標	参加者が介護保険等に移行しないこと、地域社会への関心・社会性の維持を目的に顔なじみのメンバーとの交流機会の提供、室内外の活動の提供、町文化祭への出展など運動と認知機能に働きかける内容を提供し出席率 100%を目指す。 年間開催数：48 回 年間延べ利用者数：576 人 平均参加者数：12 人
取組の成果	事業の目的である、閉じこもり防止、生きがいつくり、介護予防は参加率、継続人数からも達成できた。楽しみに参加し、参加者同士、ボランティアとの会話、毎月のカレンダーづくり、作品づくりを楽しむ姿が見られた。町内の食事処では普段見せない食への食欲さを見ることができ、会話も弾み、身近な場所に出ることの大切さを感じる機会もあった。 年間開催数：47 回（5 月連休：休会） 登録者数：9 人 年間延べ利用者数：367 人 平均参加者数：8.1 人 出席率：89% 介護保険移行者：1 人
課題等	町の方針として現在対象としている方が介護保険等に移行し人数が減少した場合は休会という方向性が伝えられている。そのため、徐々に顔なじみの参加者が減ることで参加者のメンタル支援や将来の不安に向けた支援を町と共に考えていく必要がある。また休会と共に閉じこもりや引きこもり、地域からの孤立につながらないような支援が求められている。 事業としては、東部地区が休会したことにより令和 8 年度は長岡地区からも参加者がいるため送迎時間を要すが、事業目的である地域社会からの孤立防止、閉じこもり防止、生きがいつくり力を入れて、町内外の季節行事や店舗に出向き、家族との会話が弾むような外出活動を入れながら介護予防、継続率を 100%に近づけるように事業を進めたい。

< 具体的取り組み >

01 いきいき塾 南部班

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
登録者数	10 人	11 人	9 人
運営回数	47 回	48 回	47 回
延べ利用者数	345 人	442 人	367 人
協力者数（ボランティア）	5 人	4 人	3 人

Ⅱ 通所介護事業（介護保険法）

予算・決算	収入予算：56,756,000 円 収入決算：53,757,473 円
事業区分	☒ 自主事業 ☐ 補助事業 ☐ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-1 安全を備える
事業開始	平成 4 年（介護保険事業：平成 12 年）
事業の目的等	利用者が自らの心身機能の持っている力を発揮し、入浴、食事、社会性、対人交流など日常生活上の支援と日々の体調観察、身体機能維持を目的とした運動、様々なレク活動などを提供している。「住み慣れた地域で、自分らしく生きがいや役割を持ち、自宅での生活を続けられること」を目標にサービスを提供する。
令和 7 年度目標	機能訓練指導員を再配置し、個別機能訓練加算を新規取得し、収入増を図る。また ICT の導入からより事務効率や記録作成効率化、直接支援時間の増加を図り、より安定した収入の安定化を図ります。 ◆予算編成時： 年間延べ利用者数：5,654 人 平均：22 人/日 介護 1：6 人、介護 2：8 人、介護 3：3 人、介護 4：3 人、介護 5：2 人
取組の成果	個別機能訓練加算は 7 月取得。当初想定していた管理者兼務による個別機能訓練は「管理者、機能訓練指導員は専任」という条件により、急遽、パート看護師により実施となった。利用者の多くは 90 歳を超え、高度の難聴や難聴による指示理解の困難さ、認知機能の低下を認める方も多く、年齢や身体状況から個別機能訓練は望まないという声が多く聞かれ 4 名の開始であったが、その後新規利用からの紹介、提案により年度末では 19 人の登録となっている。 I C T の活用については健康管理や個々の日報記録に留まり、家族との連絡、請求システムとの連携、他事業所との連携、個別台帳の作成は既存の紙媒体によるやり方や紙面による情報伝達、既存システム利用との併用が継続されている。 生活相談員業務を担える職員は 3 人体制となり、管理者含めて新規利用者の受入れ相談に当たることができ、7 年度中の総合利用の方を含め

	て新規利用者は 30 人となり、年間登録では 92 人の登録となった。詳細は以下の通り。 令和 7 年度登録者数 92 人 死亡：8 人、施設入所：5 人、転所：3 人、 新規利用者：30 人 〔介護保険：26 人（継続：19 人） 総合事業：4 人（継続：1 人）〕 ◆実績：平均：19.8 人/日 延べ利用人数：5,094 人（達成率：90%） 介護 1：6 人、 介護 2：6.6 人、 介護 3：3.6 人、 介護 4：2.9 人、介護 5：0.7 人
課題等	前年度に比べ介護 5 の方の利用が様々な理由から大幅に減少したことは収入に影響を及ぼし、今年度の傾向として近隣施設でも言われているが中重度の方の施設利用・入所が大幅に増え利用者数が減少している。中重度が減ることで取得加算の見直し、現利用者を分析しての新たな加算の取得、将来に向けた施設運営についても検討していく必要がある。 食事代が近隣施設と比べて高い。毎年度上がり続けており、令和 8 年度も上がる可能性がある。利用者負担も大きく、関係者からも利用者負担が増え紹介にも躊躇するとの声も聞かれ、食事の質と業務内容の検討課題となってきた。 導入したシステムが有効活用できていない。近隣の同システムを使用している施設の利用状況を学び、今後益々、ICT を利用した様々な加算取得、多事業所とのシステム連携、根拠のある介護の提供などに取り組むことが求められてきている。現場は兼務を求められ業務量も増加し、加算取得と介護士と生活相談員、機能訓練指導員の専任配置が必然という課題もあり、組織の職員体制において課題がある。

< 具体的取り組み >

01 箕輪町デイサービスセンターゆとり荘

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
運営日数	256 日	257 日	257 日
利用者数（延べ）	6,438 人	5,612 人	5,094 人
日平均利用者数	25.1 人	21.8 人	19.8 人

※令和 6 年度以前：総合事業対象の要支援 1,要支援 2 含む。令和 7 年度：総合事業対象者を省いた利用者数掲載

(WISEMAN デイサービス管理システム参照)

02 介護度別利用件数

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
要介護 1	1,928 人	1,627 人	1,551 人
要介護 2	2,109 人	1,803 人	1,694 人
要介護 3	1,043 人	723 人	936 人
要介護 4	861 人	783 人	741 人
要介護 5	264 人	468 人	172 人

※要支援 1、要支援 2：総合事業対象者

Ⅲ 総合事業通所介護事業

予算・決算	収入予算：6,004,000 円 収入決算：5,253,973 円
事業区分	☒ 自主事業 ☐ 補助事業 ☐ 受託事業 ☐ その他 ☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-1 安全を備える
事業開始	平成 29 年
事業の目的等	可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の生活機能の維持、向上を目指して支援することを目的にサービスを提供します。
令和 7 年度目標	自立した生活に向けたサービスプログラムの提供と継続的に利用をしてもらえるような仕組みを目指すと共に、関係機関と連携し、新規利用者の獲得に努める。予算編成時：年間延べ利用者数：771 人 総合事業対象者（支援 1・2 含む）：3 人
取組の成果	新規契約：4 人（継続者：1 人） 年間延べ利用者数：534 人 総合事業対象者（支援 1・2 含む）：2.2 人 基準該当生活介護：新規 1 人（継続率 100%）
課題等	新規申請から関係者会議、契約つながるも最終的には本人の意思でサービス利用をしない、辞めてしまう事例が多くあり、生活相談員は契約に関する書類作成、個人台帳作成などを行っても最終的に継続報酬につながらないことが見受けられた。 軽度利用者を将来に向けた先行投資として受け入れていくのか、介護保険に特化した利用者を中心に受け入れていくのか、社会福祉協議会のデイサービスではあるが、収益を求める事業でもあり、通所介護事業の今後含めて立ち位置を再考することが求められている。 障がい者を対象とした生活介護は継続者、新規利用者共にほぼ参加率が高く、1 年間継続できている。経営的な面から考えれば、障がい者をより受け入れる、受け入れられる施設運営、体制、地域ニーズの拾い上げを行っていく必要がある。

＜具体的取り組み＞

01 介護予防・日常生活支援総合事業

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
運営日数	256 日	257 日	257 日
利用者数（延べ）	811 人	679 人	534 人
日平均利用者数	3.2 人	2.6 人	2.1 人

（WISEMAN デイサービス管理システム）

02 介護度別利用件数

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
総合事業対象者等	233 人	208 人	122 人
要支援 1	260 人	252 人	248 人
要支援 2	318 人	219 人	178 人

（WISEMAN デイサービス管理システム）

03 基準該当生活介護事業

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
生活介護（基準該当）	203 人	279 人	346 人
日平均利用者数			1.3 人

【訪問介護グループ】

I 訪問介護事業（介護保険法）

予算・決算	収入予算：25,165,000 円 収入決算：21,975,320 円			
事業区分	☒ 自主事業	☐ 補助事業	☐ 受託事業	☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業	☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-1 安全を備える			
事業開始	昭和 46 年			
事業の目的等	利用者が自宅で可能な限り自立した日常生活が送れるよう、また利用者の有する能力を生かした生活が送れるよう配慮しながらサービスを提供します。自宅において身体介護や生活支援や、病院の受診介助を提供しています。			
令和 7 年度目標	新規利用者、困難事例利用者を断ることなく受け入れると共に、利用者の方々が自宅での生活が安心して出来る様に支援を行う。			
取組の成果	困難事例に対し、訪問介護職員全体や各専門職の連携に務めました。継続した支援を行う事で利用者さんにとって自宅での生活が良い方向に向かってきています。 利用者数は新規利用者もありましたが、入院や死去に伴い利用者数の			

	減少になっています。 令和 7 年度に県の事業の経営改善を受けました。経営状況を分析して頂きました。現状と課題は「売上高とスタッフ数の減少傾向」、経営改善に向けた取り組みとして「人材確保の強化」と「営業の強化」が上げられました。まずは人材確保の強化をしていくところです。
課題等	令和 7 年度に 3 人のパート職員が退職しました。人材不足の中で効率よく業務が出来るよう、また事務等で時間がかかっている部分の見直しをする為に ICT の導入を進めていきます。 月目標、介護保険収入 2,360 千円、3 事業合計 2,959 千円。新規利用者を 3 事業合計で 5 人を目標に支援していきます。

< 具体的取り組み >

01 社会福祉法人箕輪町社会福祉協議会

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者実人数	78 人	64 人	71 人
延べ件数	5,305 件	4,994 件	4,071 件

02 介護度別利用件数

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
総合事業対象者	213 件	261 件	219 件
要支援 1・2	921 件	757 件	725 件
要介護 1	801 件	665 件	1,060 件
要介護 2	1,628 件	1,470 件	1,194 件
要介護 3	1525 件	279 件	205 件
要介護 4	945 件	1,736 件	938 件
要介護 5	406 件	844 件	674 件

Ⅱ 障害者総合支援法訪問介護事業

予算・決算	収入予算：6,849,000 円 収入決算：6,757,060 円		
事業区分	☒ 自主事業	☐ 補助事業	☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-1 安全を備える		
事業開始	平成 18 年		
事業の目的等	障がい者総合支援法訪問介護事業は、心身に障がいを持つ方が日常生活を送るうえで安心して暮らせるよう、自宅に伺います。身体介護や生活援助等のお手伝いをします。また病院の受診介助、余暇活動の付き添い等のサービスを提供します。		

	養育支援事業は、町からの委託事業で子育てに不安がある家族に対して生活支援や沐浴や子育ての支援の提供をします。
令和 7 年度目標	利用者さんが自宅で安心して過ごせるよう、支援を行う。不安なことがある時は丁寧に傾聴し関係機関に繋げる。
取組の成果	精神疾患の利用者さんが増えており、訪問時に不安を訴える方がいます。訪問中に訴えのあった事を各専門職に繋げ、利用者さんが安心してできるように支援が出来たと感じます。 障がい者支援だった利用者が 65 歳になり介護予防・日常生活支援総合事業に移行された為、利用件数が減少しました。 養育支援事業は町からの依頼がありませんでした。
課題等	精神障がいの方が増えています。今後も各専門職と連携を密にしながら支援を行っていくと共に、研修の機会があれば自己研鑽を行っていきたいです。ICT の導入を進めていきます。

< 具体的取り組み >

01 障がい者総合支援事業

(1) 障がい者総合支援事業（居宅介護・同行援護・行動援護）

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者実人数	19 人	20 人	20 人
延べ件数	1,386 件	1,709 件	1,401 件

(2) 障がい者移動支援（町からの委託事業）

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者実人数	1 人	1 人	1 人
延べ回数	29 回	24 回	24 回

(3) 養育支援事業（町からの委託事業）

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者実人数	2 人	2 人	0 人
延べ回数	32 回	2 回	0 回

Ⅲ 総合事業訪問介護（介護予防・日常生活支援総合事業）

予算・決算	収入予算：2,638,000 円 収入決算：2,709,370 円			
事業区分	☒ 自主事業	☐ 補助事業	☐ 受託事業	☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業	☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-1 安全を備える			
事業開始	平成 29 年			

事業の目的等	箕輪町から総合事業所の指定を受け、高齢者が要介護状態にならずに生きがいを持ち自立した在宅生活を営むことができるよう、サービス計画に基づき、訪問介護サービスを提供します。
令和 7 年度目標	介護度が低い方々なので、出来る事はご自分で出来る様に配慮しながら支援を行う。
取組の成果	介護度が事業対象者や要支援のまま過ごされている方が多いです。令和 7 年度中に介護保険に移行された方は 2 人でした。出来る事はご自分のペースで行いながら過ごされています。
課題等	今後でもご自分で出来る事は続けて頂きながら、体調変化やレベル低下に気づいたときは、ケアマネージャーに繋げていきます。ICT 導入を進めていきます。

< 具体的取り組み >

01 介護予防・日常生活支援総合事業

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者実人数	24 人	22 人	22 人
延べ件数	1,134 件	1,018 件	946 件

【居宅介護支援グループ】

I 居宅介護支援事業

予算・決算	収入予算：33,645,000 円 収入決算：32,287,400 円			
事業区分	☒ 自主事業	☐ 補助事業	☐ 受託事業	☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業	☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-1 安全を備える			
事業開始	平成 12 年			
事業の目的等	要介護者や要支援者が、その有する能力に応じて可能な限り自立した在宅生活を営むことができるよう、居宅サービス計画を作成し、計画に基づいたサービスが提供されるよう支援します。			
令和 7 年度目標	限られた人員の中で ICT の活用等による業務効率化を進めながら、新規依頼についても可能な限り受け入れることを目標に取り組んできました。また、地域の社会資源の把握と活用を進め、利用者の生活の質の向上と地域生活の継続を支援してきました。			
取組の成果	関係機関との連携やこれまでの支援の積み重ねにより、既存利用者や関係者からの新規依頼が続いています。主任介護支援専門員も 6 人中 4 人となり、支援体制の重層化と専門性の向上が図られています。また地			

	域への出前講座等も依頼があれば PR を兼ねて積極的に出かけて、認知症や介護保険について学ぶ機会を設けています。
課題等	相談件数の増加に伴い業務負担が高まる中、サービス利用に至るまでに時間を要するケースや、継続的な見守り・相談支援が必要なケースも増えており、実績に反映されにくい状況があります。また、要支援や総合事業対象者の増加により収支への影響も見られています。 今後は、さらなる ICT の活用による業務効率化に加え、主任ケアマネを中心とした役割分担の明確化や関係機関との連携強化により、持続可能な支援体制の構築が課題です。

< 具体的取り組み >

01 社会福祉法人箕輪町社会福祉協議会

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
月平均利用者数	207 人	197 人	206 人

02 介護度別利用件数

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
総合事業対象者	88 件	121 件	95 件
要支援 1・2	474 件	433 件	524 件
要介護 1	671 件	591 件	783 件
要介護 2	631 件	702 件	655 件
要介護 3	353 件	241 件	218 件
要介護 4	171 件	178 件	133 件
要介護 5	90 件	102 件	59 件

【障がい者就労支援グループ】

I 障がい者就労支援センター事業

予算・決算	収入予算：41,816,000 円 収入決算：42,272,928 円		
事業区分	☒ 自主事業	☐ 補助事業	☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業	☐ 拡充事業	☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	3-2 安心の手と手がつながる		
事業開始	平成 19 年		
事業の目的等	利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するために、通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者について、一般就労等への移行に向けて支援するために		

	事業者が個別支援計画に基づき利用者に対して必要なサービスを提供します。
令和 7 年度目標	職員体制の見直しにより報酬単価のアップと配置の見直しによる経費の削減の実施。職場体験や見学者の受入れの情報発信を行い、伊那養護学校からの現場実習生をできる限り受け入れていく。
取組の成果	新たに送迎車輛を購入し、送迎を分散することで利用者の送迎時間の短縮を行い、朝は通所介護の運転手に一部送迎をお願いしていたが、職員で回すことにより人件費の削減を行うことができました。 参観日を設けて日ごろの活動内容を見ていただく機会を作りました。 コロナ禍以降出来ていなかった野外学習のイベントを行いました。 様々な取り組みを行い、欠席する方が減り 14% 近く出勤率を上げることができました。
課題等	令和 7 年度のふれんどわーくの一人当たりの平均工賃は 25,668 円となっております。令和 6 年度が 31,281 円で 5,600 円程の工賃が下がっております。原因としましては、7 年度初めは 17 人の契約者がいましたので一人当たりに支払う工賃も下がっております。平均工賃が下がったことにより、令和 8 年度の基本報酬単価も 758 単位から 738 単位に下がってしまいました。下がってしまった分は新たに利用者を受け入れることで収入を増やす必要があります。出勤率は大幅に上がりましたが、定員が 20 人に対して契約者数が令和 7 年度末には 13 名と減少しており、受入れ人数を増やして現在の稼働率 71% から 20% アップを目指して安定的な収入を確保する必要があります。

< 具体的取り組み >

01 障がい者就労支援センターふれんどわーく

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
運営日数	239 日	239 日	239 日
契約利用者数	15 人	15 人	13 人
延べ利用者数	3,057 人	2,831 人	3371 人
一日平均利用者数	12.8 人	11.9 人	14.2 人
出勤率	84.5%	81.3%	94.9%
一人当たりの平均工賃(月額)	24,055 円 (旧) 19,244 円	31,281 円	25,668 円

【障がい者相談支援グループ】

I 障がい者相談支援事業

予算・決算	収入予算：3,593,000 円 収入決算：4,512,020 円
事業区分	☒ 自主事業 ☐ 補助事業 ☒ 受託事業 ☐ その他
	☐ 新規事業 ☐ 拡充事業 ☒ 維持事業 ☐ 縮小・廃止事業
事業根拠	2-1 安全を備える
事業開始	平成 26 年
事業の目的等	障がい者総合支援法に基づいた障がい者指定特定相談支援事業所として、地域共生社会が推進できるよう、障がい者がその人らしく、一人ひとり自立した生活を送るために必要な機関と連携し適正なサービスを提供できるよう、計画を作成し支援します。
令和 7 年度目標	相談支援員が増えることで、利用者の新規受け入れ、加算を取得する為の研修など参加し自己研鑽に勤める・利用者、ご家族と災害時の避難場所、避難経路、連絡先など確認し、緊急持ち出しファイルの作成を進める それに伴い町と協力して BCP、災害時の個別支援計画への参画、避難経路の確認をする。
取組の成果	令和 7 年 4 月より 2 人体制となり 12 月より相談支援専門員を取得したことで体制が整い「サービス利用支援費（機能強化型Ⅳ）」を取得できることとなり、この取得によりこれまでの支援費から 100 単位上がり年間約 15 万円ほどの収入アップに繋がります。しかし「高次脳機能障害研修」については受ける予定でしたが研修がなく R8 年度へ持ち越しとなっています。研修にあたっては、自立支援協議会等への参加、他相談支援専門員とのケース検討会に 2 度参加し相談支援専門員同士の交流、支援に対する新たな気づき、スキルアップに繋がり来年度も継続予定です。また、新たに障がいをお持ちの方の災害時の避難計画について町から「個別支援計画」の策定に関して協力相談がありました。障がいの方の災害時の避難に関しては事業所として緊急時の持ち出しファイル作成において避難時の対応確認、必要な確認事項に繋がり、町との情報共有に繋がる為、町の委託事業として「個別支援計画」作成への協力を行います。
課題等	相談支援は計画書等を作成して初めて収支に繋がります。現状として新規依頼があっても支援困難なケース、精神疾患をお持ちの方に対する医療関係者との連携、会議への参加、通院同行など多機関との連携、グループホームや施設入所されている方、就労をされている方への事業所訪問など町外、遠くは飯田、下伊那へ伺うことがあり、サービス利用に繋がらないケース、連絡が頻回な方もいます。個々の支援を怠ることない対応には受け入れ人数の調整は必要となり、今後の課題となります

＜具体的取り組み＞

01 箕輪町社会福祉協議会 指定特定相談支援事業所

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者数	66 人	70 人	74 人

02 区分別利用件数

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
非該当	432 件	452 件	474 件
区分 1	12 件	36 件	36 件
区分 2	86 件	173 件	226 件
区分 3	41 件	76 件	58 件
区分 4	72 件	62 件	72 件
区分 5	24 件	24 件	24 件
区分 6	0 件	0 件	0 件